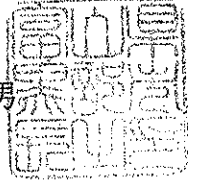




黒建 63 号
平成19年4月26日

国土交通省道路局長 殿

黒部市長 堀内 康 男



中長期的な計画策定にあたっての意見について（回答）
平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありましたこのことについて、別紙のとおり回答します。

事務担当：黒部市都市建設部建設課 本瀬
0765-54-2111 内線522

① 重点化を進める上で特に優先度の高い施策

公共事業に対しては、一時期風当たりの強い時期があり、批判されたことがありました。また、国、地方の財政状況が厳しくなったこともあり、公共事業の予算が削減されてきました。道路整備についても同様ですが、一方で渋滞の解消や安全で安心して暮らせるための道路整備が求められています。また、地方の道路整備については、市街地へのアクセス道路確保、冬期間の生活道路確保といった生活に密着した道路整備がまだまだ遅れており、整備の必要性が重点課題となっています。

こうしたことから、地方の公共事業（道路、下水道等のインフラ整備を含めて）の必要性を訴えるとともに、特に住民生活に関わりのある道路整備にあたっては、緊急性と防災を考慮した道路整備及び道路維持管理の促進に安定的な財源を確保していくことが必要です。また、新しい道路行政のポイントについては、それぞれの自治体の特色にあった、地域住民から真に求められているものをいかに早く効率よく整備していくかが大切だと考えます。

【項目】

- ・ 景観・文化的価値の創造
電線の地中化

- ・ 都市空間の整備
道路・沿道空間を利用したイベントを開催、地区住民憩いの場創出

- ・ 観光振興への寄与
黒部市は、昨年3月31日に旧宇奈月町と旧黒部市が合併し新黒部市が誕生しました。この合併により海岸から世界に類を見ないV字峡の黒部峡谷、宇奈月温泉を有する観光振興都市となったことから、観光地域を結ぶ一連の道路と、アクセス向上を図った道路整備が早急に必要となっています

- ・ 雪に強い道づくり
消雪施設の充実

② 効率化を徹底的に進める上で重視すること

道路の整備において、効率化を図ることも重要です。今後においては、既存道路の有効活用とともに、地域の実情に応じた特色のある多様な道路構造の採用がなされるべきと考えます。

また、効果的な道路整備を行うためには、成果重視への早急な移行がなされるべきであると考えますが、それぞれの道路が有している目的・役割は、当該道路を有する地域の実情によって異なるものがあり、成果の評価指標・方法は、それぞれの地域の実情が反映されるものとしなければならないと思います。また、地域住民の意見を反映させることが最も重要であることは言うまでもなく、生活環境に十分配慮した道路造りが必要です。

【項目】

- ・事業のスピードアップ

- ・コストの削減

③ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

現在、国の施策の中で富山県東部において最重要基幹道路である一般国道8号入善黒部バイパスの整備が進められており、完成により大きな経済効果と渋滞緩和が見込まれることから、早期開通を望みます。

また、地方の生活に密着した道路整備については、まだまだ遅れていることを認識していただくとともに、既存道路の維持管理費や冬期間の除雪費用についても財政の厳しい中、負担になっていることから、今後何らかの対応策をとっていただくようお願いいたします。